

應神天皇

願密避之

願くは密かに避け

【之】

01

既産之

既に産(あ)れませるときに

故今我代大臣而死之

故、今我大臣に代わりて死(みまか)りて

是肖皇太后爲雄裝之負鞆

是れ肖皇太后の雄しき装したまひて鞆を負き

たまへるに肖(は)えたまへり

時武内宿禰獨大悲之

時に武内宿禰、獨り大いに悲びて

05

處々海人、訕嘯之不從命

處處の海人、訕嘯(さばめ)きて命に従わず

以從南海廻之

南海より廻りて

於是二人各堅執而爭之

是に二人各堅く執(とら)へて争ふ

06

百濟辰斯王立之

百濟の辰斯王立ちて

天皇勅之

天皇勅して

百濟國殺辰斯王以謝之

百濟國辰斯王を殺して謝(うべな)ひにき

武内宿禰勝之

武内宿禰勝りて

08

船既成之

船既に成る

天皇勅之令釋

天皇勅して釋さしめたまふ

09

至菟道野上而歌之

菟道野の上に至りて歌して

14

有人奏之

人有りて奏して

12

在筑紫而密謀之

筑紫に在りて密に謀る

天皇悦之

天皇悦びて

乃歌之

乃ち歌して

時武内宿禰歎之

時に武内宿禰歎いて

便知得賜髮長媛而大悦之

便ち髮長媛賜ふこと得ることを知りて大いに

悦ぶ

獨對髮長媛歌之  
獨り髮長媛に對し歌ふ

又歌之  
又歌して

18

因以奏之  
因て以て奏す

20

王仁來之  
王仁來り

則太子菟道稚郎子師之  
則ち太子菟道稚郎子、師す

21

天皇召直支王謂之  
天皇、直支王を召して謂(かた)りて

仍且賜東韓之地而遣之  
仍りて且た東韓の地を賜いて遣す

22

仍授精兵詔之  
仍りて精兵を授けて詔して

必由新羅之拒而滯之  
必ず新羅の拒ぐに由りて滯れる

汝等急往之  
汝等急ぎ往きて  
新羅王愕之服其罪

新羅王愕じて其の罪に服す

23

時國樸人來朝之  
時に國樸人、來朝す

而歌之  
歌して

歌之既訖  
歌既に訖りて

其土自京東南之  
其土は京より東南

26

時妃兄媛侍之  
時に妃の兄媛侍り

冀暫還之  
冀くは暫らく還りて

則謂之  
則ち謂りて

則聽之  
則ち聽(ゆる)したまふ

27

兄媛自大津發船而往之  
兄媛、大津より船を發し往く

28

故乘輿屢遊之  
故に乘輿屢ば遊びたまふ

29

時御友別參赴之

時に御友別、參赴(まうけ)り

30

天皇聞而召之

天皇聞しめて召す

31

怒之責高麗之使

怒りて高麗の使を責むる

32

是朽之不堪用

是朽ちて用いるに堪へず

則施之

則ち施(ほどこ)して

即引之

即ち引きて

新羅王聞之

新羅王聞きて

則奇其不燒而獻之

則其の燒えざることを奇(あやし)びて獻る

天皇歌之

天皇歌(うたよみ)して

35

問之

問ひて

亦問之

亦問ひて

少子甚憐之

少子甚だ憐(かな)し

以大鷦鷯尊爲太子輔之

大鷦鷯尊を以て太子の輔として

38

天皇崩之

天皇崩ず